

<エントリーシート> ※事務局記入欄 No. : A - 27	部門 平成 29 年度 学校組織マネジメント指導者養成 研修	学校名・氏名 岐阜県教育委員会 教育研修課 寺井聡
	活動名 主タイトル「12 年目研修における取組」 副タイトル「ミドルリーダー養成研修として」	

課題の設定：学校組織マネジメント研修受講者の意識変革をねらいとした研修の改善について

「学校組織マネジメント」という名称の響きから、兎角、受講者は受動的なスタンスを取りやすい問題がある。いわば、「マネジメントは管理職の役目であり、他人事である」という感覚である。この場合、受講者は組織の一構成員の視点しか持ち合わせていない。学校運営において、その年代に応じた主体的な参画のあり方を思索していくという認知的な立ち位置にいる受講者に対して、その意識変革を目的として、研修内容と研修方法の改善に努めた。

方針・計画：基本方針「他人事としての捉えから、自分ごととして捉える視点を獲得させる」

仮説として、受講者は、「目に見える」範囲で「ものを考える」傾向にある。そこで、研修では、12 年間にわたる教師としての経験を振り返らせることで、受講者自身の「視野の広がりや指導力の高まり」を再認識させる。かつまた、ロールモデルとしての先輩教師と自身を比較させることで、現在の自分が後輩教師にとってどのように見えるのか内省させる。さらには、若手であった頃の自身の課題と現在の自身の課題に「変化が見られない」ことを再確認させることで、「現状に甘んじてよいか」という問いを示し、教師としての「自尊心」に揺さぶりをかける。この一連の心理的往還を意図的に研修プログラムとして組織することで、学校運営に対する受講者自身の参画意識の醸成を図る。

活動内容：

当課においては、毎年、12 年目研修受講者（※ミドルリーダーとしての成長が喫緊の課題として求められる世代）に対し、悉皆研修として「学校組織マネジメント」の内容を位置付けている。そこで、学校組織マネジメント指導者養成研修受講者は、成果還元として研修内容の企画と講座講師を担当している。

活動の成果：

当研修において、様々なワークシートを作成させることで、受講者は「目に見える」範囲で「ものを考える」ことから、次第に「現状に対する自身の不満や不安」に気づき、「成長・向上に対する意欲が、日々の多忙感から減退していたこと」を自覚することができ、未来志向の意見を寄せるようになった。具体的な言葉として、「目指す学校像に対する SWOT 分析は、これから自分が何をしていくのかを考える良い機会となった」との意見が寄せられている。かつまた、ロールモデルとしての先輩教師と自身を比較することで、現在の自分の在り方や、組織において自身に求められる資質も、若手であった頃の自分とは異なり変化していることを再確認した受講者も多数みられた。具体的には、「最近になり、『これからの自分は（10 年後に向けて）どうしたいのか？』と考え始めたので良い機会となった」、「ミドルリーダーとして自分の在り方を見直す機会となった。今後、後進の育成に当たる立場になったことを肝に銘じた」など、自らの意識改革を表現するようなアンケートの記述が見られた。

アピールポイント（アイデアや工夫）：

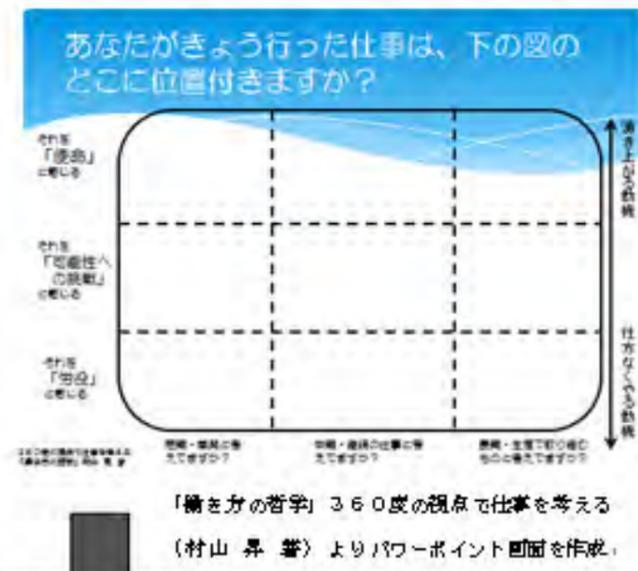
- ①「学校組織マネジメント」の概念の理解を受講者自身の気づきとするために、研修プログラムの在り方を、概念の説明ではなく、心理的変容のプロセスとして構築した点。
- ②学校運営への「主体的参画」のためには、受講者の意識変革が必要であるとして、「現在の自己の客観視」「ロールモデルとの比較」「過去の自分との比較」という作業を用いて、心理的・認知的な自己理解を促した点。

研修風景と展開・成果等、

[研修風景]



[展開：講座前半 ワーク例「仕事の位置付け」]



講座前半では、受講者自身に、「日々の仕事」の意味を内省させ、仕事の性格や優先順位等を整理させることで、仕事を「作業」として捉えがちになっている自分に気付かせるよう働きかけた。...

講座後半では、グループによる SWOT 分析を用いた。そのねらいは、受講者毎に所属は違えど、「理想的な学校像」について語り合わせることで、初任の頃の「理想としての教師像」を思い起こさせるとともに、12 年間という教師経験の中で培ってきた、教師としての「学び」を意見交流という形で表現させた。...

[展開：講座後半 SWOT 分析]

5. 満足であった点、よりよい講座とするために改善するとよい点をお書きください。

【満足であった点】

今まで思いつかなかった視点で、仕事を考えることができたこと。自分自身、作っている仕事を、見つめ直すきっかけが、つくれたこと。授業は、大切だと、それだけに、どうすればいい学校、という組織の在り方について、教えることができたこと。

6. 研修成果をどのように生かしますか？お書きください。

学校を組織として見たときに、自分の役割は、何ができるのかという点を考え、職務にあたらうと思えました。授業、校務分掌、HRにおいて、自分のできること、やらなければならないことを、しっかりと意識します。

6. 研修成果をどのように生かしますか？お書きください。

組織には、やはり、立場が変わると、見え方も変わっていく。そのことは、自分からいって、その立場からどう対応していくか、そのイベントも、アポイントも、ただ、進捗は、その立場に、立ち回らなければ、足元をふり返って、更には、自分で、必要があることを、感じた。

[成果 アンケートより]